

救急車の適正利用について

救急車の適正利用にご協力をお願いします

救急車は限りある医療資源です

全国的に救急件数は増加しており、喜多方広域管内においても年々救急件数が増加しています。

そのために、本当に救急車が必要な人に救急車がすぐに出場できない事があります。

通常、119番の救急要請を受けると、現場から一番近い消防署から出場しますが、救急車が出場している場合は、遠方にある別の救急車が出場することになり現場への到着に時間を要してしまいます。

このように、救急車の出場要請が増えることにより119番を受けてから救急車が現場に到着する時間が遅れ、**救える命が救えなくなる**場合があります。

救える命を救うために

近年、軽い症状でも救急車を利用する人が増え社会問題になっています。

このような状況が続きますと、事故による大ケガの人や、心筋梗塞や脳卒中などで緊急に病院などへ搬送する必要がある人への救急車の到着を遅らせることとなります。

119番通報する前に、救急車が本当に必要か、自家用車やタクシーなど一般の交通機関を利用できないか、もう一度考えてください。

ただし、命にかかわる病気やケガで緊急に病院へ行かなければならない場合は、迷わず119番通報してください。

救急車を本当に必要とする人のために、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

救急車の誤った利用例

- 今日は入院日だから。
- 自家用車が無いから。
- 早く診察してもらえから。
- タクシーだとお金がかかるから。
- 自分で病院を探すのが面倒だから。

突然のこんな症状の時にはすぐ119番!!

顔

- 顔半分が動きにくい、しびれる
- 笑うと口や顔の片方がゆがむ
- ろれつがまわりにくい
- 見える範囲が狭くなる
- 周りが二重に見える



高齢者



頭

- 突然の激しい頭痛
- 突然の高熱
- 急にふらつき、立ってられない

胸や背中

- 突然の激痛
- 急な息切れ、呼吸困難
- 旅行などの後に痛み出した
- 痛む場所が移動する

手・足

- 突然のしびれ
- 突然、片方の腕や足に力が入らなくなる

おなか

- 突然の激しい腹痛
- 血を吐く

意識の障害

- 意識がない(返事がない)又はおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- けいれんが止まらない

けが・やけど

- 大量の出血を伴うけが
- 広範囲のやけど



吐き気

- 冷や汗を伴うような強い吐き気

飲み込み

- 物をのどにつまらせた

事故

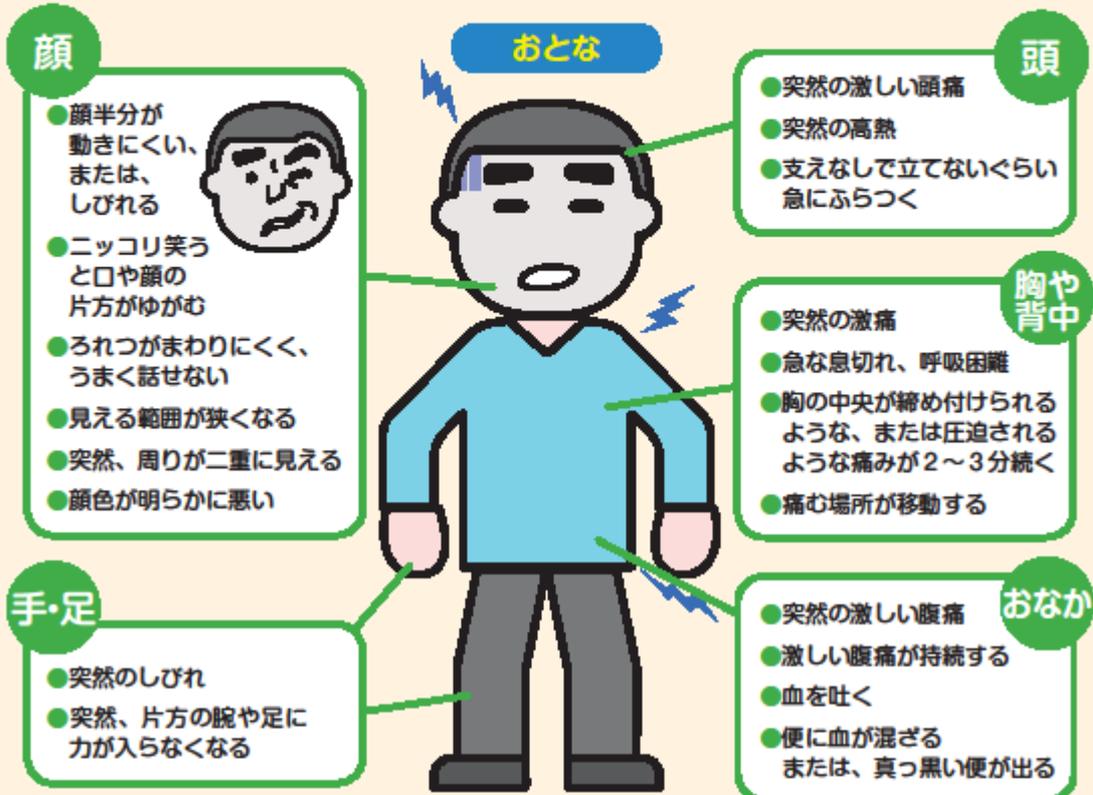
- 交通事故や転落、転倒で強い衝撃を受けた



◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合◎
高齢者は自覚症状が出にくい場合もありますので注意しましょう。

※迷ったら「かかりつけ医」に相談しましょう!

重大な病気やけがの可能性ががあります!



- **意識の障害**
 - 意識がない (返事がない) またはおかしい (もうろうとしている)
 - くったりしている
 - **けいれん**
 - けいれんが止まらない
 - けいれんが止まっても、意識がもどらない
 - **けが・やけど**
 - 大量の出血を伴うけが
 - 広範囲のやけど
 - **吐き気**
 - 冷や汗を伴うような強い吐き気
 - **飲み込み**
 - 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない
 - **事故**
 - 交通事故にあった (強い衝撃を受けた)
 - 水におぼれている
 - 高いところから落ちた
- ◎その他、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

こんなときにはすぐに119番!!

こども(15歳以下)

顔

- くちびるの色が紫色
- 顔色が明らかに悪い

胸

- 激しい咳やゼーゼーして呼吸が苦しそう
- 呼吸が弱い

手足

- 手足が硬直している

頭

- 頭を痛がって、けいれんがある
- 頭を強くぶつけて、出血がとまらない、意識がない、けいれんがある

おなか

- 激しい下痢や嘔吐で水分が取れず食欲がなく意識がはっきりしない
- 激しいおなかの痛みで苦しがる
- 嘔吐が止まらない
- 便に血がまじった

意識の障害

- 意識がない(返事がない)またはおかしい(もうろうとしている)

けいれん

- けいれんが止まらない
- けいれんが止まっても、意識がもどらない

飲み込み

- 物をのどにつまらせて、呼吸が苦しい、意識がない

じんましん

- 虫に刺されて全身にじんましんが出て、顔色が悪くなった



やけど

- 痛みのひどいやけど
- 広範囲のやけど



事故

- 交通事故にあった(強い衝撃を受けた)
- 水におぼれている
- 高いところから落ちた



生まれて3カ月未満の乳児

- 乳児の様子がおかしい

◎その他、お母さんやお父さんから見て、いつもと違う場合、様子がおかしい場合

【参考】救急車が到着までに準備していた方が良いもの。

 **救急車が来るまでに、用意しておく便利なもの。**

- 保険証や診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬
(おくすり手帳)

乳幼児の場合はさらに

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- ほ乳瓶
- タオル



 **救急車が来たら、こんなことを伝えて下さい。**

- 事故の状況や体調が悪くなってから救急隊が到着するまでの様子やその変化
- おこなった応急手当の内容
- 具合の悪い方の情報

持病、かかりつけの病院やクリニック、普段飲んでいる薬、医師の指示など

- 持病、かかりつけの病院やクリニックなどは、日頃からメモにまとめておく便利です。



○本資料は、緊急度が高い(赤に該当)ことが予測され、すぐに救急車を呼んでほしい症状のうち、特に知ってほしい症状をまとめています。
○ここに掲載がない症状等については、救急受診ガイド2014年版をご覧ください。
○救急受診ガイド2014年版は左ページの2次元バーコードまたは、消防庁ホームページへアクセスしてください。
○緊急度とは様々な症状等を赤、黄、緑に分類し、医療機関を受診するための手段と受診する目安を示したものです。

赤 【救急車を呼びましょう】
黄 【今すぐに医療機関を受診しましょう】
緑 【医療機関を受診しましょう】

(平成27年3月発行)

救急車（119番通報）を呼ぶか迷った場合には

福島県子ども救急電話相談

夜間に、こどもが急に具合が悪くなった時など、看護師や医師などから家庭での対処法などについてアドバイスを受けることができます。

受付時間：毎日 午後7時～翌朝8時

短縮ダイヤル：#8000（プッシュ回線の固定電話・携帯電話）

または 024-521-3790（固定電話アナログ回線など）

また、夜間や休日当番病院については、[ふくしま医療情報ネット](#)で確認することができます。

[ふくしま医療情報ネット](#)では休日当番病院のほか、診療科目別、時間別などで病院を探すことができます。

- [ふくしま医療情報ネット](#)